

< HTML > < /HTML >

この文書が HTML文書であることを指定する。HTML 文書のルート（最上位要素）を表すので、ルート要素とも呼ばれる。他のすべての要素は、この要素の子孫として基本的には配置しなければならない。構造を意味するタグ。

記述例

```
<HTML>
  <BODY>
    <p>Hello</p>
  </BODY>
</HTML>
```

属性一覧

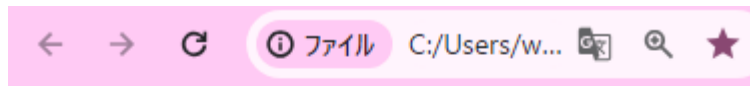
- **lang**

HTML文書の言語を指定する。指定の仕方としては言語コードを指定する。 windows版のFirefoxでは lang="ja"だと、日本語も英語もフォントが"Meiryo"となるが、lang="en"だと英語のみ"TimesNewRoman"で表記されるなどの違いがある。 またこの言語コードでブラウザ側における自動翻訳の言語識別をしている。

記述例.1

```
<HTML lang="ja">
<BODY>
<p>Hello</p>
</BODY>
</HTML>
```

実行結果.1



Hello

記述例.2

```
<HTML lang="en">
<BODY>
<p>Hello</p>
```

```
</BODY>  
</HTML>
```

実行結果.2

